

食の安全に関する市民（県民）アンケート 報告書

1 調査の目的

輸入食品の残留農薬事案や腸管出血性大腸菌O157による広域散発食中毒事件などの食にまつわる様々な問題の発生を背景に、食品の安全・安心に対する市民の関心は依然として高い状況にあります。

このように、食の安全を確保することへの関心が高まる中で、市民の意見・要望を把握し、「前橋市食品衛生監視指導計画」策定の基礎資料とします。

2 調査の実施方法

食品関係イベント開催時にイベント会場にアンケートを設置、もしくは参加者に配布しました。アンケートを実施したイベントは下記のとおりです。

開催日	イベント名
H22.7.30	危険！夏場の食中毒！！ 細菌・ウイルス博士の食中毒予防講座
H22.8.7	ストップ ザ 食中毒2010 ～あなたが守る食の安全～
H22.10.3	楽しく学ぼう きのご塾

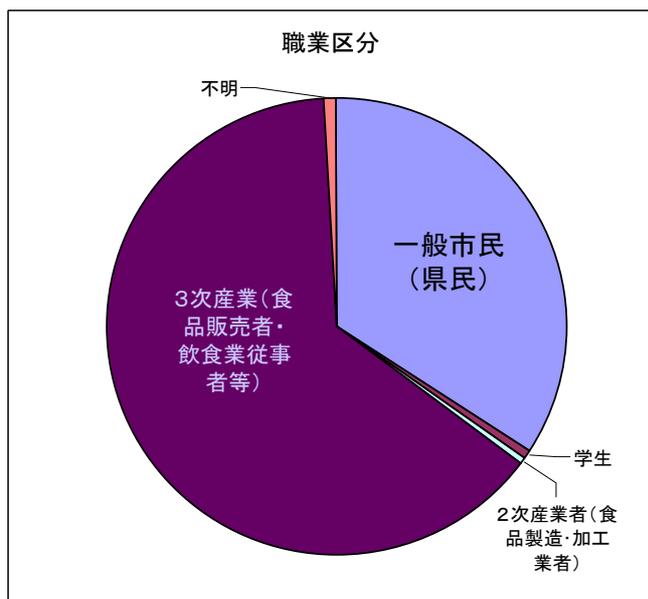
3 調査の結果

3つのイベントで、計219のアンケート結果が得られました。

4 まとめ

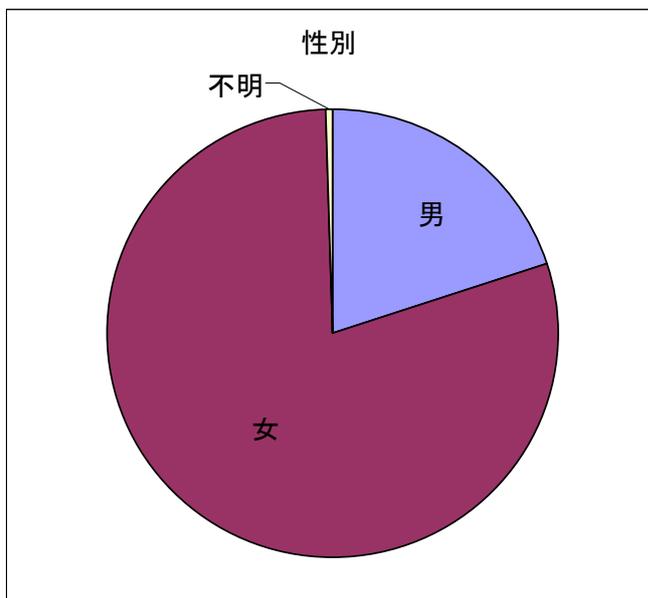
大多数の消費者は食の安全について不安を感じています。特に農薬、遺伝子組換え食品、食品添加物並びに輸入食品について大きな不安があることが伺えます。また、こういった不安要素に関する情報を消費者に伝える手段である食品表示についても高い関心があることが分かりました。

1 回答者について



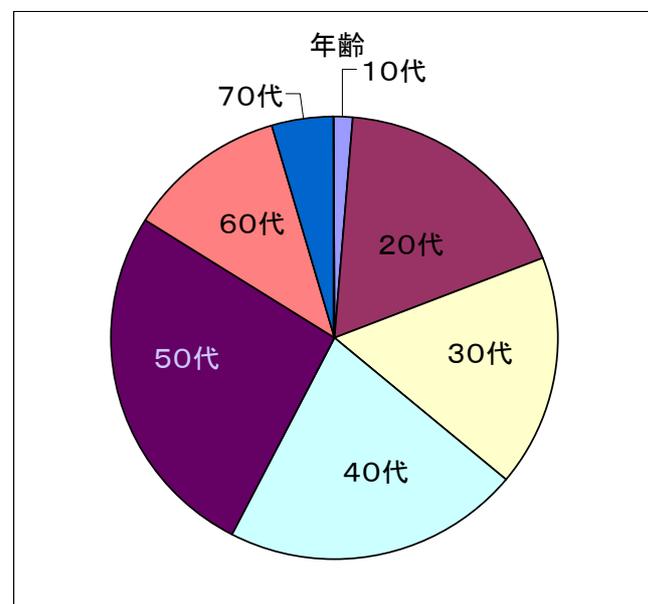
職業区分 内訳

一般市民 (県民)	75 人
学生	1 人
1次産業者 (農畜産事業者)	0 人
2次産業者 (食品製造・加工業者)	1 人
3次産業 (食品販売者・飲食業従事者等)	140 人
不明	2 人



性別 内訳

男	44 人
女	174 人
不明	1 人



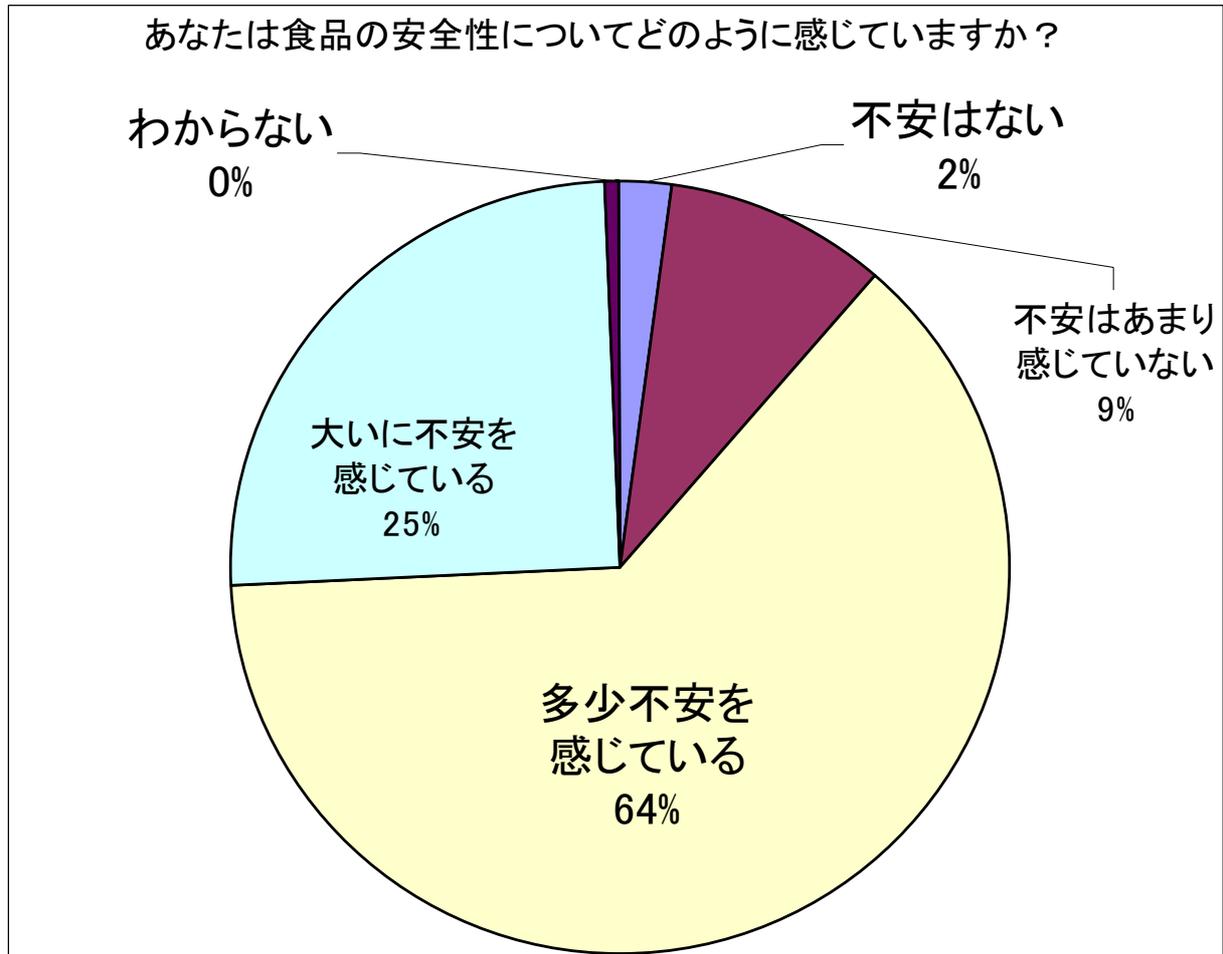
年齢 内訳

10代	3 人
20代	39 人
30代	37 人
40代	47 人
50代	58 人
60代	25 人
70代	10 人
80歳以上	0 人

2 食品の安全性について

(1) 問1 あなたは食の安全についてどのように感じています

多少不安を感じている人が最も多く、全体の6割を占めています。大いに不安を感じている人も含めると9割近い人が食品の安全性について不安を感じているという結果でした。

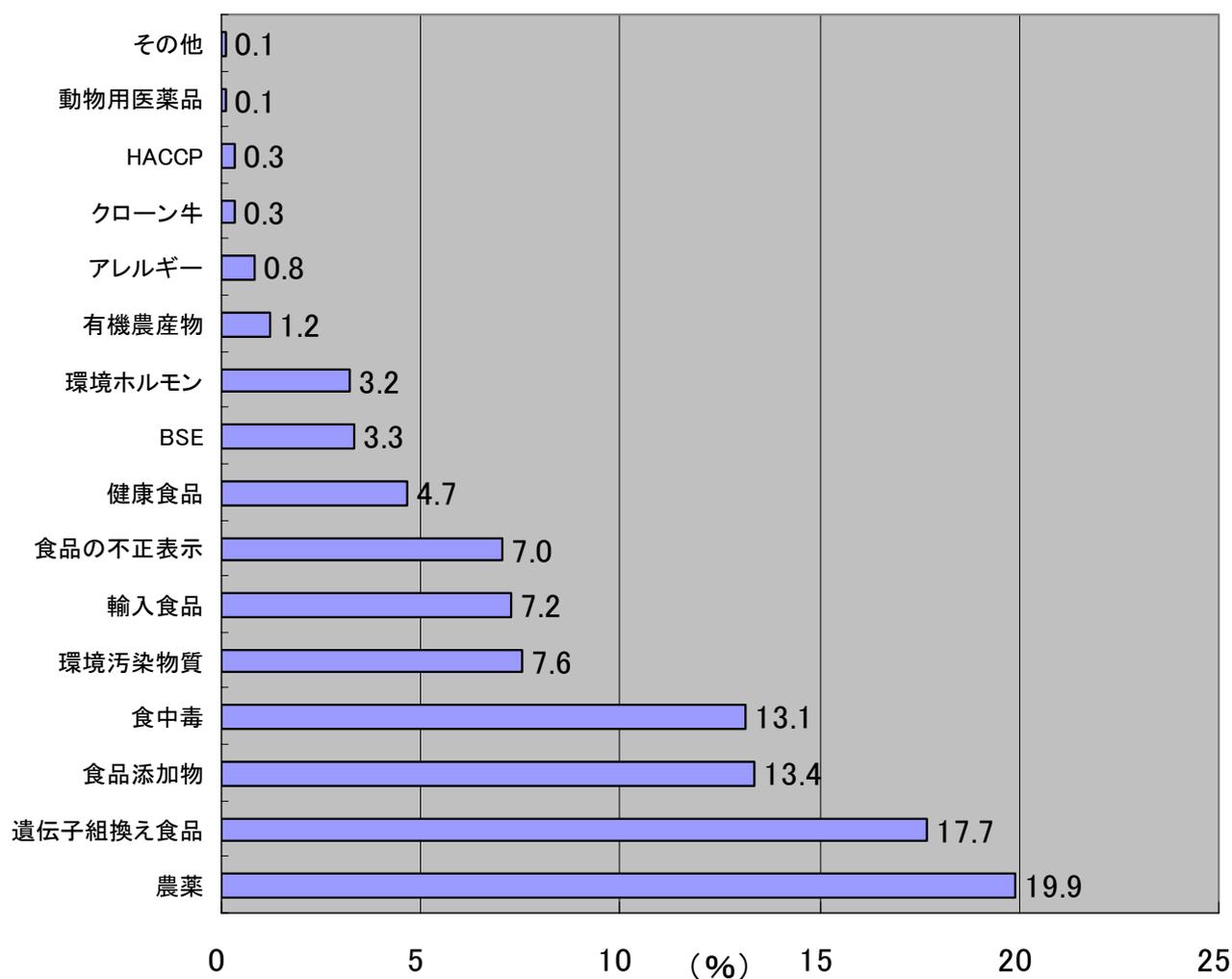


(2) (1)の問いにおいて「不安に感じている」旨を回答した方にお尋ねします。

次のどの事項について、不安に感じていますか？(複数回答可)

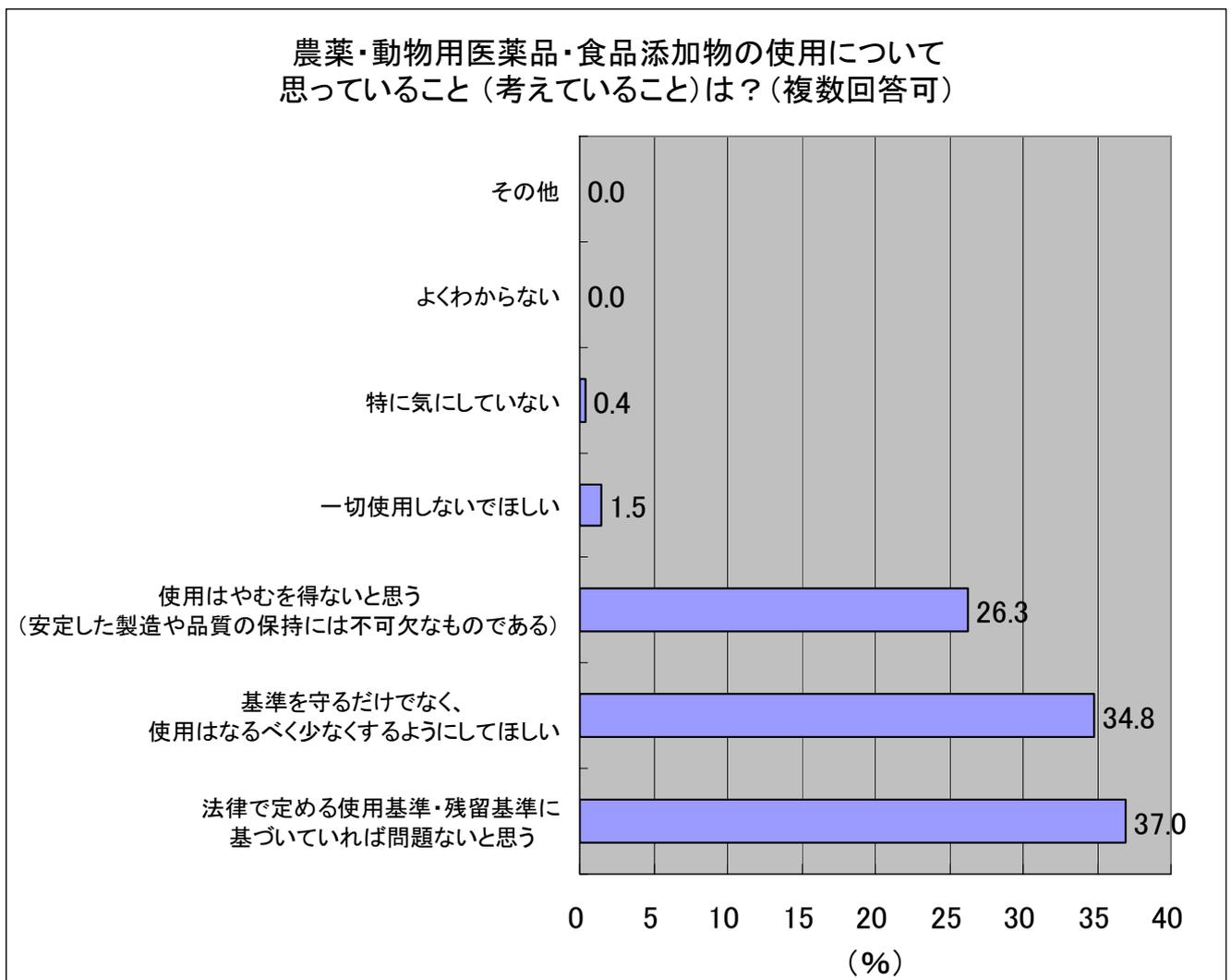
「農薬」について不安に感じている人が約20%と最も多く、「遺伝子組換え食品」、「食品添加物」、「食中毒」と続きました。逆に「動物用医薬品」や「HACCP」、「クローン牛」などについては、そもそもの認知度が低いことが原因で、不安を感じている人が少ないと推察されます。

(1)の問いにおいて「不安に感じている」旨を回答した方にお尋ねします。
次のどの事項について、不安に感じていますか？(複数回答可)



(3) 農薬・動物用医薬品・食品添加物の使用について思っていること
(考えていること)は？(複数回答可)

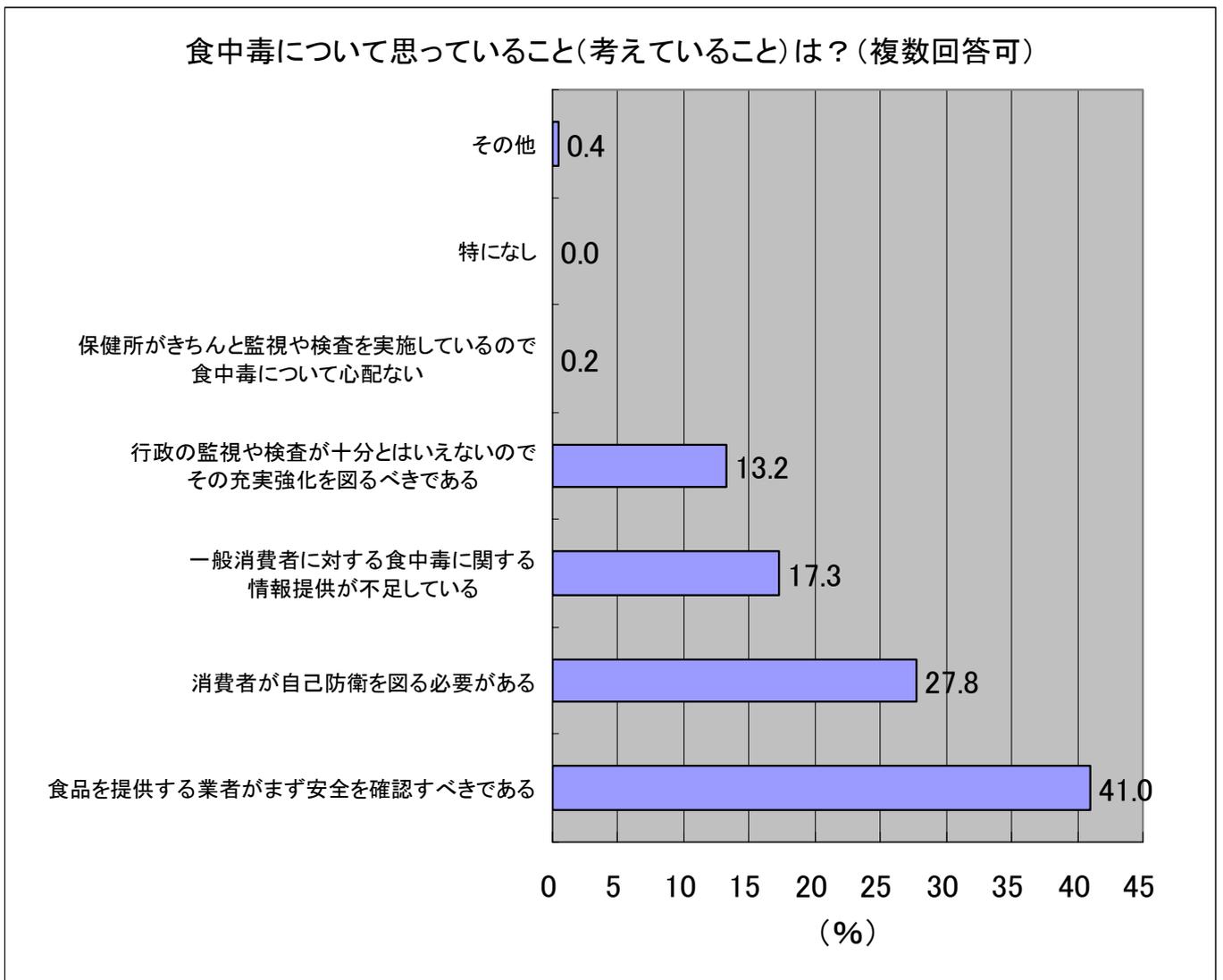
「法律で定める使用基準・残留基準に基づいていれば問題ないと思う」人が約37%、「使用はやむを得ない(安定した製造や品質の保持には不可欠なものである)」と考えている人が約26%など、現状に一定の理解を示す意見が多くありました。一方で、「基準を守るだけでなく、使用はなるべく少なくしてほしい」と考える人が約35%、「一切使用しないでほしい」と考える人も約2%と少数ながら存在するなど、農薬・動物用医薬品・食品添加物の使用を減らしてほしいという意見も多くありました。



(4) 食中毒について思っていること(考えていること)は？(複数回答可)

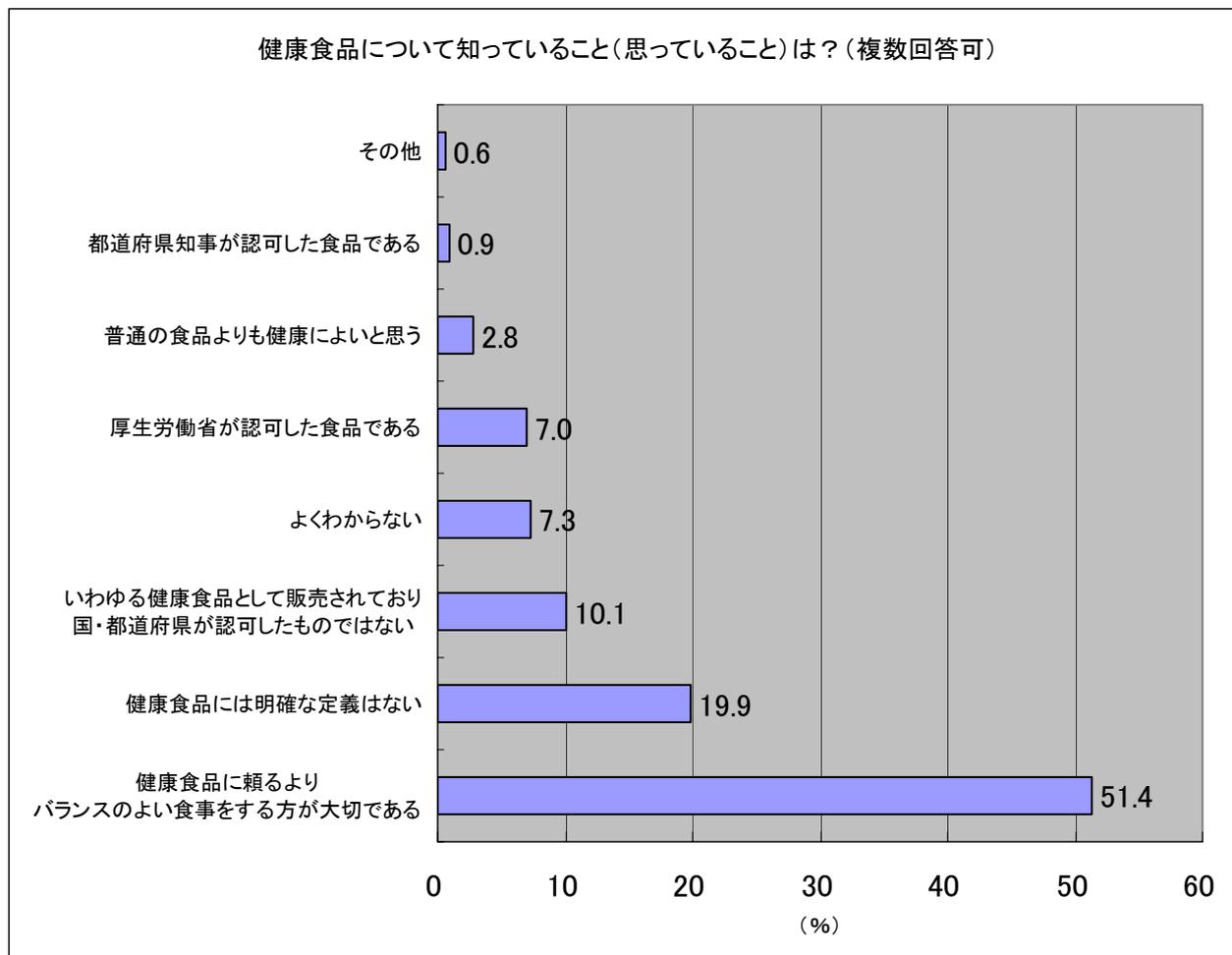
「食品を提供する業者がまず安全を確認すべきである」と考えている人が約41%と最多で、次に「消費者が自己防衛を図る必要がある」と考えている人が約28%と続きました。

また、「行政の監視や検査が十分とは言えない」や「一般消費者に対する情報提供が不足している」と考える人を合わせると約31%で、逆に「保健所がきちんと監視や検査を実施しているので食中毒について心配ない」と考えている人は約0.2%でした。



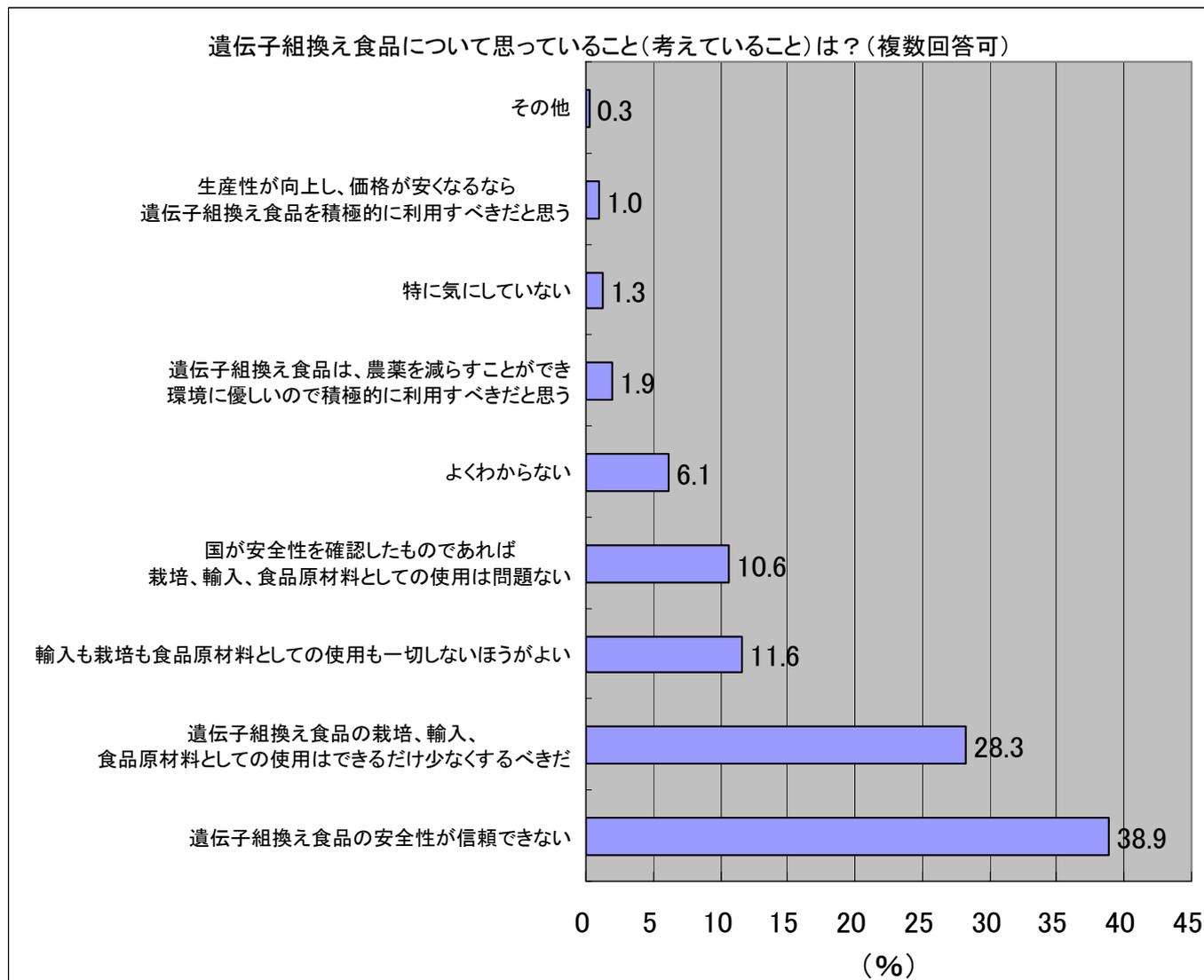
(5) 健康食品について知っていること(考えていること)は？(複数回答可)

「健康食品に頼るよりバランスのよい食事をする方が大切である」と思っている人が約51%と半数を占めました。



(6) 遺伝子組換え食品について知っていること(考えていること)は？(複数回答可)

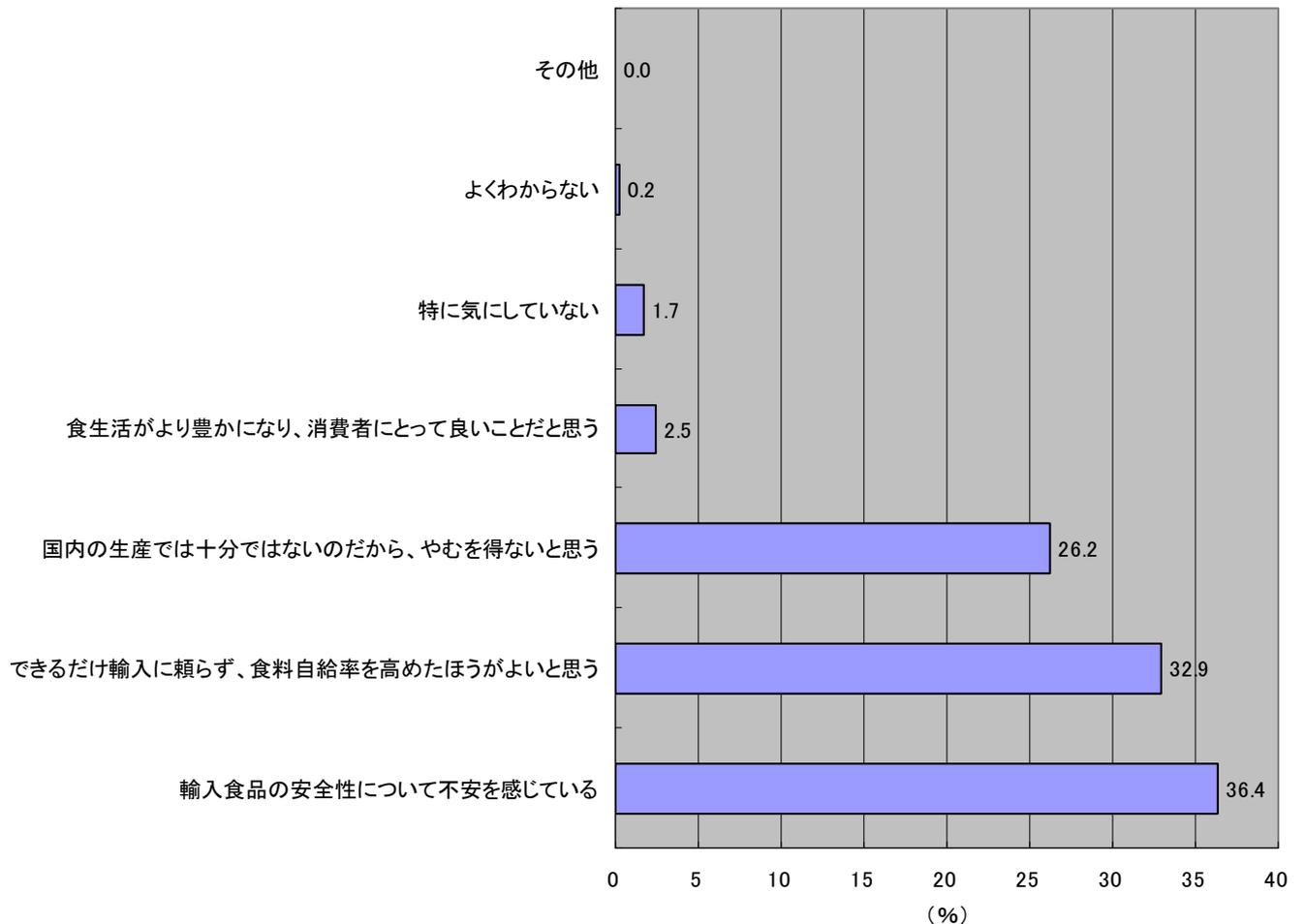
「遺伝子組換え食品の安全性が信頼できない」と考えている人が約39%、
「遺伝子組換え食品の栽培、輸入、食品原材料としての使用はできるだけ少なくするべきだ」と考えている人が約28%「輸入も食品原材料としての使用も一切しないほうがよい」と考えている人が約12%で、遺伝子組換え食品の使用について否定的な意見が目立ちました。



(7) 輸入食品の増大についてどう思いますか？(複数回答可)

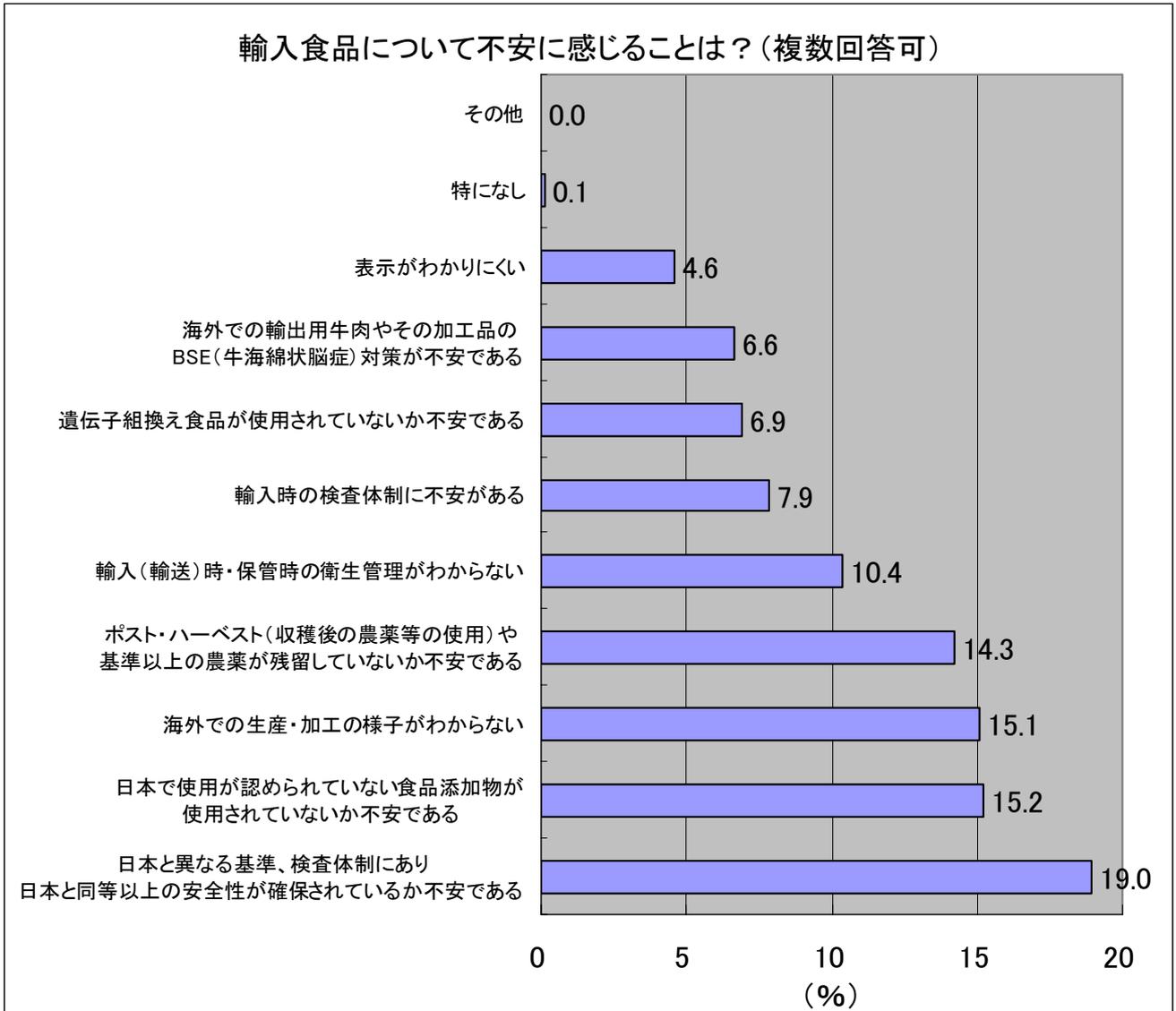
「輸入食品の安全性について不安を感じている」人が約36%、「できるだけ輸入に頼らず、食料自給率を高めたほうが良いと思う」人が約33%いると同時に、「国内での生産では十分でないのだから、やむを得ないと思う」人が約26%いました。

輸入食品の増大についてどう思いますか？(複数回答可)



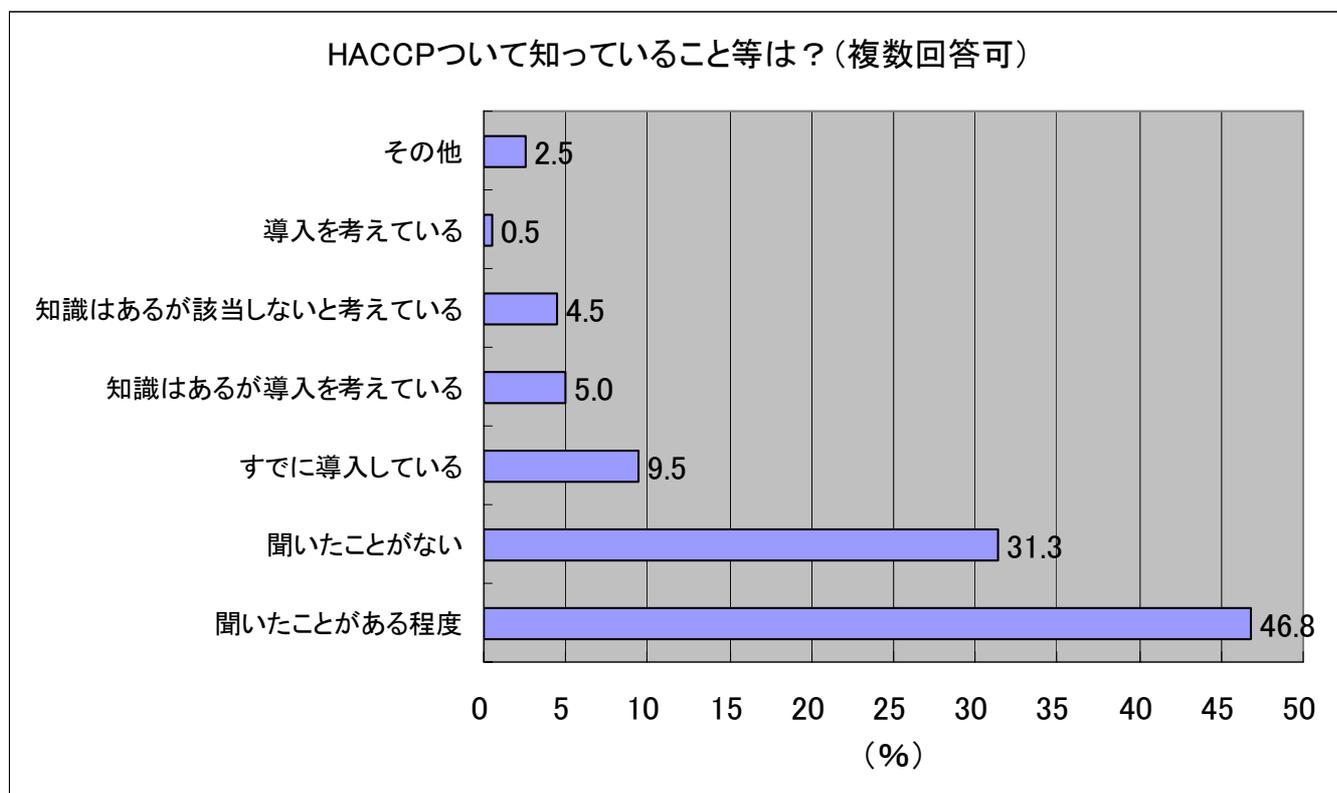
(8) 輸入食品について不安に感じていることは？(複数回答可)

「日本と異なる基準、検査体制にあり、日本と同等以上の安全性が確保されているか不安である」と考えている人が約19%で最多でしたが、その他の多くの項目で回答が寄せられ、消費者の輸入食品への不安要素は多岐に渡ることが分かります。



(9) HACCPについて知っていること等は？(複数回答可)

「聞いたことがない」、「聞いたことがある程度」の人が合わせて約78%で、今回のアンケート回答者のほとんどが3次産業(食品販売者・飲食業従事者等)であったことも合わせると、HACCPの認知度はかなり低いことが分かります。



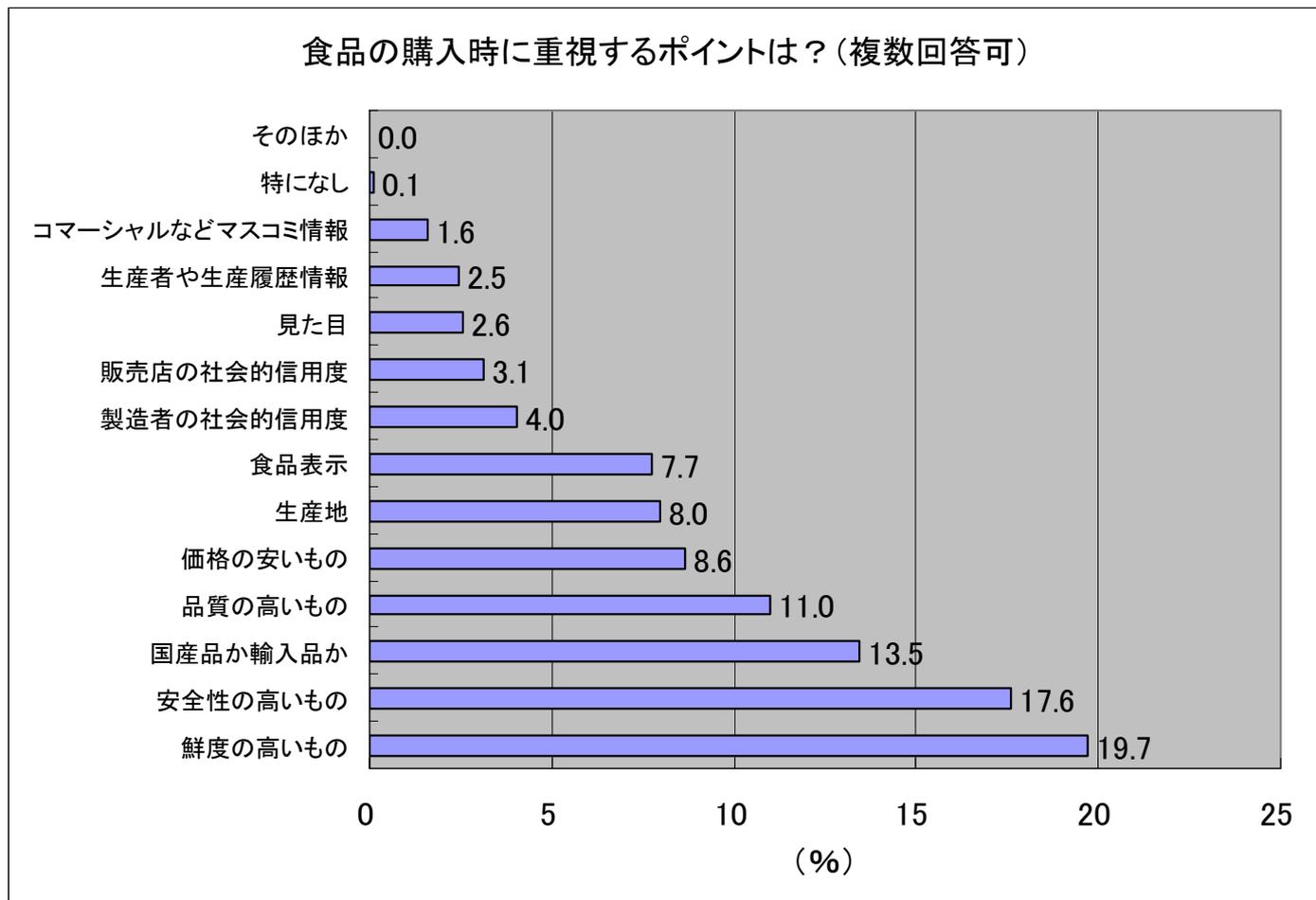
HACCPとは

危害分析重要管理点(Hazard Analysis and Critical Control Point)の略。

原材料の受け入れから製造工程、製品の出荷までの段階で発生しうる各種のハザード(危害要因)をコントロールする手段を講じ、それを連続モニタリングすることで製品の安全性を保証するシステム。

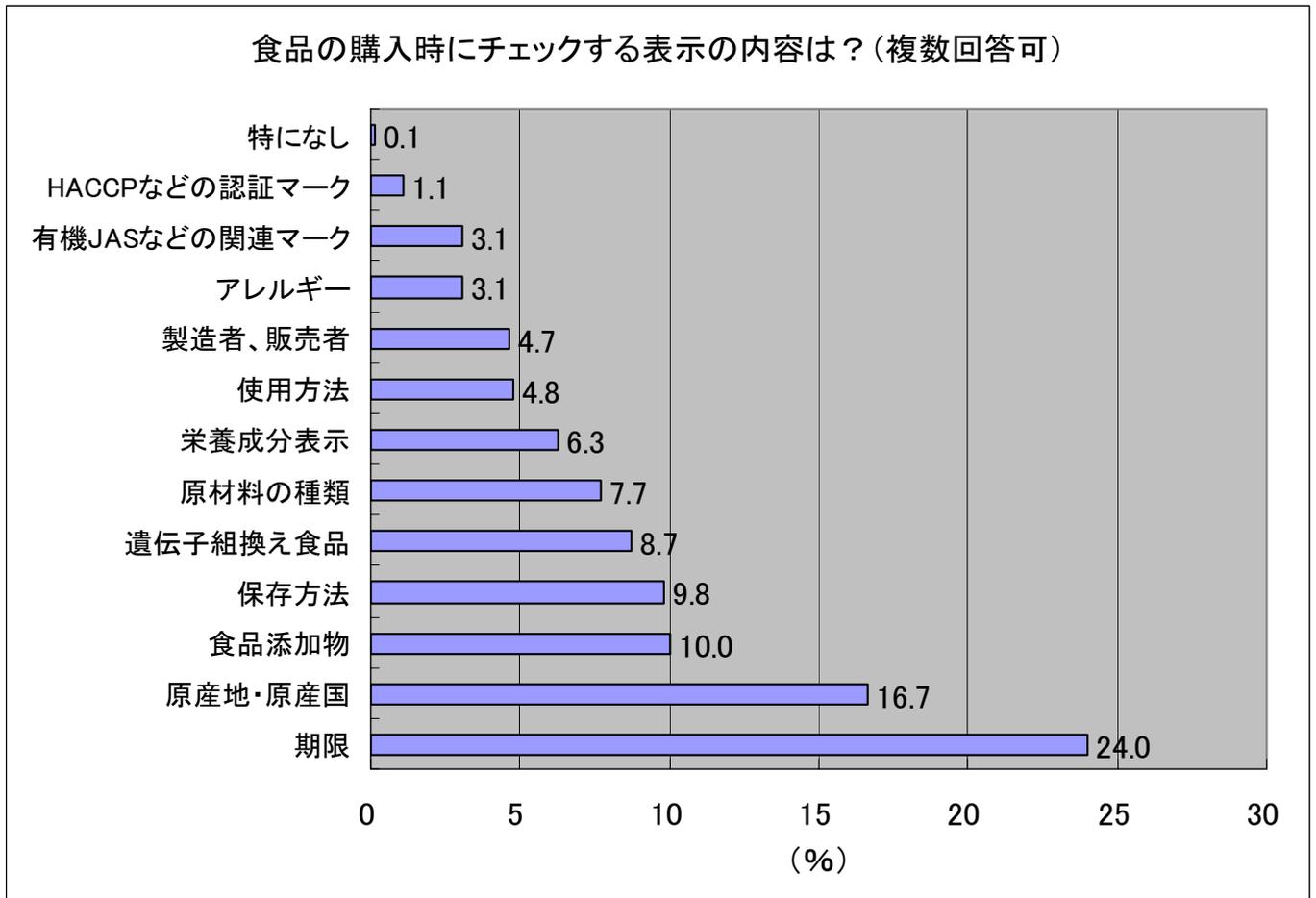
3 食品の購入時に重視するポイントは？（複数回答可）

重視する人が多い項目から順に「鮮度の高いもの」、「安全性の高いもの」、「国産品か輸入品か」と続きました。ただし、「見た目」を重視する人が約3%と少ないことから、こういった情報の多くは「食品表示」から読み取られていると考えられます。



4 食品の購入時にチェックする表示の内容は？（複数回答可）

「期限」をチェックする人が約24%と最も多くいました。その後は「原産地・原産国」、「食品添加物」、「保存方法」と続きました。「(3)食品の購入時に重視するポイントは？」で重視する人が多かった「鮮度の高いもの」や「安全性の高いもの」に関連する表示に関心が高いことが分かりました。



(5) 市(県)行政に取り組みを望む事項は？特に重点的な対策を望む事項を3つ選んでください。

「輸入食品の安全性確保」、「農薬の使用・残留に関する農作物の安全性確保」が共に約15%で最多でした。それ以降は「食品添加物の使用に関する加工食品の安全性確保」が約10%、「地産地消の推進」、「食品表示の適正化推進」がそれぞれ約8%、消費者への情報提供と普及啓発の推進、「O157等の食中毒対策」がそれぞれ約6%でした。

